令和７年度　第４回第八次鹿島市総合計画審議会及び鹿島市まち・ひと・しごと創生会議

議事録（概要）

1. 日時：令和７年９月５日(金)　13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所：新世紀センター　２階　会議室
3. 出席者

（1）　委　員：森委員、馬場委員、正寶委員、野中委員、田口委員、家永委員、冨永委員、大代委員、恒松委員、伊藤委員、山口委員、生島委員、重松委員

（2）事務局：川原政策総務部長、岩下市民部長、山﨑産業部長、山浦建設環境部長、江頭教育次長、中村政策調整課長、三ヶ島政策調整課参事、森田政策調整課長補佐、峰松政策調整係長、小池政策調整係主査

4. 内容

（1）開会

（2）会長あいさつ

森会長よりあいさつ

（3）議題（変更案の説明等）

①総合計画（冊子）について

②まち・ひと・しごと創生総合戦略（事業一覧）について

事務局から説明した。

総合計画（冊子）について　（資料２）

－　事務局森田補佐より前回指摘いただいた分について修正等の説明　－

９ページに　第八次鹿島市総合計画策定にあたってのポイントとして、新計画策定にあたっての方針の柱を追加し、2 つの説明をさせていただいている。具体的に新計画の方向性を示せるものと期待している。

11、12 ページについて語尾に統一感がないとのことだったので統一させていただいた。

14 ページについて減少傾向の「傾向」という言葉については、人口減少しはじめた頃の言葉で、常態化した現状にそぐわないとの指摘をいただいていたので修正させていただいた。

老年人口と高齢人口の言葉が混在していたのでより一般的な「高齢人口」に統一させていただいた。

15 ページの人口ビジョンの目標年度についてですが、2015 年度に鹿島市が策定した人口ビジョンをもとに 2060 年と表記していたが、今回は社人研（国立社会保障・人口問題研究所）が策定した人口推計を基にしており、この社人研の目標推計は 2050 年が最終年度となっているため、2050 年に修正させていただいた。また、イメージ図の中の矢印の向きが内容からすると反対向きではないかとご指摘をいただいていたが、それぞれの施策の連携や連動、相互に好循環を生み出すことを表したいということを意図したイメージ図となっているので、今回矢印を削除して下のほうに説明書きを加えさせていただいた。

16 ページのまち・ひと・しごと創生総合戦略ですが、国の構想は現在、地方創生 2.0 というフェーズに入っている。基本構想が 6 月頃に閣議決定をされており、その後、国家戦略が策定される運びとなる情報はあるが、現在まで発表はあっていない。そのため、具体的には記載せず、「国が定める地方創生 2.0 基本構想や、総合戦略の考え方にも即したものとなるよう、新たに策定する総合計画に合わせ第 3 期の総合戦略を策定します。」という表現にとどめさせていただいた。国のほうの予定が 12 月頃までに国家総合戦略の公表を予定されているので、その内容によっては表現を改めさせていただくこともあるのでご了承いただきたい。

18 ページの公共施設の経過年数別延床面積の棒グラフについて、延床面積のみ記載されており、イメージしづらいとご指摘をいただいており、17 ページのグラフと合わせて延床面積の上に施設数を追加で表記させていただいた。

20 ページ以降の【本章で取り組む重点施策や課題】について今、朱書きで追加している文言をこれまでは写真の上に表記させていただいていた。これを写真の上には書かずに、前に集約させていただいて記載することとした。また、写真の番号と施策の番号が一致するようにしている。

22 ページの【本章で取り組む重点施策や課題】の②について、鹿島愛など鹿島の独自性を含めた表現にしたほうがよいのではというご指摘をいただいていたので、修正させていただいた。

23 ページについて前回、提案いただいていた漁協青年部による学校での海苔養殖体験授業の活動写真を追加させていただいた。

24 ページの【本章で取り組む重点施策や課題】の①について、『若者』に限らず高齢者も含めすべての市民に対する取り組みにすべきではないかというご指摘をいただいておりました。この点については、「若者をはじめとして誰もが」という表現に変更させていただいた。

③について、肥前鹿島駅周辺整備事業に関する文言が第 3 章と第 6 章に記載されていました。第 3 章が観光や街のにぎわいに関する事項、第 6 章には公共交通の利便性向上や道路の安全対策について主に言及したいと考えています。これが文言の表現と合致していなかったため、表現を修正させていただいた。

26 ページ【本章で策定する内容】の「障害者福祉」をひらがな表記の「障がい者福祉」に修正させていただいた。【本章で取り組む重点施策や課題】①の文面に子育てや子どもという表現があるので第 2 章の取り組みではないのかというご指摘をいただいておりましたが、子どもとその家庭ということで「その家庭」に焦点をあてた表現とさせていただいているので第 4 章の取り組みとさせていただいた。 ② の文面の中の「高齢者」の表記について高齢者に限らず「みんなが」という表記にしてはどうかというご指摘をいただいたが、第 4 章では高齢者福祉に焦点をあてたものとしたいため、このままの表記でいきたい。

30 ページの【本章で取り組む重点施策や課題】②について、先ほど 24 ページ第 3 章で申し上げたように鹿島駅周辺整備の文面を修正させていただいた。

（質疑・意見等）

A 委員： 20 ページに安全安心な地域づくりのため交通安全や防犯対策、消費者保護に取り組みます。と表記があるが、防犯対策について具体的にどのように考えておられるのか伺いたい。

事務局（中村政策調整課長）： 防犯については警察と連携しないと市単独では厳しいので警察と連携を強化して行っていきたい。地区においては防犯カメラ等を設置してもらっている。市と地区でも連携して行っていきたい。

A 委員：防犯カメラの助成が今年度で終わる。これまで総額の 5 割まで助成をしてもらっていた。来年度以降も続いてほしいとのことで市長と語る会で鹿島地区から要望をした。その時に昨年は申請が 1 件もなかったと回答をされたが、なんで申請をしなかったかというとこれまで設置した箇所の修理に追われた。それで、新規の設置ができなかった。今年度は 1 台設置した。

これまで鹿島地区は 14 カ所、計 26 台ほど設置しているが、他の地区はあまり設置ができていない。その理由は地区の防犯協会にお金がないためである。維持費にもお金がかかる。電気代が１台あたり年間 6,000 円ほどかかる。そのため、ソーラー式の防犯カメラを設置したりしているが、ソーラー式は日本製ではなく、全部中国製のため品物がよくない。このようなことについても検討をお願いしたい。現実がどのような状況であるか理解した上で、総合計画には表記していただきたい。

事務局（中村政策調整課長）：ご意見として受け止めていきたい。今後予算編成をする中で、そういった声も反映をしながら検討していきたい。

B 委員： 21 ページの右下のスポーツ振興の写真に番号がついていないので記載をしなくてよいか。また、全般的な話になるが、例えば 23 ページの写真について①②⑨の施策の写真しか掲載さ

れていないが、施策は①～⑨まであるのでなるべくバランスよく掲載したほうが市民の方にわかりやすいと思う。それと写真の縦横比が揃っていないのは編集で揃えられるのか。

事務局（森田政策調整課長補佐）： スポーツ振興の写真については②に修正をさせていただきたい。写真掲載のバランスについてもいろんな施策について取り組んでいることがわかるように表現をさせていただきたい。写真の順番についても基本的に重点施策や課題の順番になるように並べ替えをさせていただいている。縦横比については編集の時に揃えます。

C 委員： 28 ページの【本章で策定する内容】に鳥獣保護と鳥獣被害対策が書かれており相反する言葉が横並びになっているので一瞬、何を言いたいのかと思ってしまうのではないかと思う。

事務局（森田政策調整課長補佐）：その両方にバランスよく取り組んでいかなければならないというところがキーワードになってくると思う。表現について確かに横並びになっていると誤解を招きやすいので、鳥獣被害対策のほうを「有害鳥獣被害対策」という表現に変えるなど再度検討させていただきたい。

事務局（森田政策調整課長補佐）： こちらから 1 点だけお願いしたいことがあり、資料 2 の中で専門的な用語、分かりにくい用語があればご助言をいただきたいと思っている。空白ページなどにコラム欄のような形で用語解説を付け加えさせていただきたいと思っている。

D 委員：第七次鹿島市総合計画改定版に掲載されているような用語解説ページを作ることを想定されているのか。

事務局（森田政策調整課長補佐）：今回は用語解説のページを作ることまでは考えていない。その理由は用語解説が多く出てくるような計画にはせず、できるだけわかりやすい計画にしたいということと、インターネットでも今は誰でも検索できるので、検索していただけると思っている。その中でもわかりにくい表現や市民の皆さんに浸透していない表現等あれば、注釈をつけてコラム欄などで説明をしたいと思っている。

E 委員：24 ページの【本章で取り組む重点施策や課題】に記載されているスローツーリズムという 言葉は、観光分野ではよく聞く言葉だが、わからない方がいるのではないか。また、32 ページの【本章で策定する内容】に記載されているフロントヤード・バックヤード改革の言葉についても意味がわかりにくいので説明を載せたほうがいいのでは。

第3期鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略　事業一覧について（資料３）

－　事務局森田補佐より前回指摘いただいた分について修正等の説明　－

3ページ基本戦略３について第２章（政策目標2）のほうに表記するほうが適切ではという指摘をいただき、再度検討させていただいたが、基本的には生涯学習の観点から表記させていただいているので第１章（政策目標1）に表記させていただいている。

4ページの令和12年度目標数値の単位の有無や具体的な事業の『新規』、『既存』の別の表記などに統一感がなかったため全体を見直し修正をさせていただいた。

8ページの基本戦略16について、元は基本戦略17と20で分かれており表題が一緒だったため、１つにまとめてもいいのではというご指摘をいただいていたので検討させていただき、今回まとめさせていただいた。

9ページ基本戦略22の令和12年度目標に現状の記載もしたほうがわかりやすいとのご指摘をいただいていたため、追記させていただいた。

（質疑・意見等）

F委員：９ページ　基本戦略21に商店街の記載があるが、どこでも人口減少し、店舗のほうも廃業が出てきて、空き店舗利用についても補助金が出ている間は利用されたりするが、補助金がなくなればすぐ閉店される状況である。静岡県の人口2,000人程度の町に視察にいったが、そこは観光客が多い町でなぜかというと、一つは人気がある老舗旅館があり、最近は部屋食が少なくなったが、そこは部屋食がある旅館で、設備投資もされておられた。また、地元の若い人を多く雇用されていた。外に働きに出ないでみんなが地元で働いて守っていくというようなところを見てきた。人口が減る中で、鹿島でもそのようなことを考えていければと思う。

事務局（山崎産業部長）：人口が減っていく中で商店街や観光分野など厳しい状況にある。鹿島の素材を生かしながら魅力を磨いて、他市から来てもらうような取り組みをおこなっている。

空き店舗活用について事業継承や新規起業など商工会議所の協力をいただきながら、全体的に盛り上げていく方向ですすめている。お聞かせいただいた事例についても参考とさせていただきたい。

G委員：　4ページの基本戦略５にSAKURASについて「市民が日常的に集い・・」と記載されている。8月末に鹿島市老人クラブ連合会の大会を初めてSAKURASで開催させていただいた。早く来られたお客さんが暑い中、外に待っておられ、主催者側の役員も中に入ることができず、早めに開けてもらえなかった。その辺を臨機応変に対応していただきたかった。役員も、すでにお客さ

んが来られてる中で準備を急いでしなければいけなかったのですごく大変だった。

また、以前の市民会館には緞帳があったが、今はない。緞帳は待ち時間を利用して鹿島を PR する機会にもなるので緞帳があったほうがいいと思う。

F 委員：緞帳についてはけっこういろんなところから話を聞く。SAKURAS の開館時間について特に年配の方たちが多いような時は検討してほしい。

事務局（江頭教育次長）： SAKURAS の開館時間については改めて協議をさせていただきたい。特に季節的なところや利用者の年齢層も考慮できるような形で検討していきたい。

緞帳については確かに鹿島のアピールになると思うが、かなり高価なものになり、設置するのは難しいため、例えばスクリーンで鹿島市の PR 動画を放映するなどの方法で検討したい。

H 委員： 資料 2 のほうの意見になるが、全体的に文章が増えたように感じる。例えば、32 ページ⑧に審議会・委員会・協議会などでの女性委員の割合を増やすなど、個性と能力を発揮できる 男女共同参画社会の実現を図りますと表記されているが、これはずっと前からやっていることなので、敢えて表記する必要があるのかという感じがした。また、個性と能力が男女共同参画になるのかなと思った。多様性社会を目指しますなどの表現にしてもいいのではと思った。20 ページ⑦と 22 ページ⑨にも人権・同和に関することが表記されている。文章を増やしていけばあれもこれも盛り込まないといけないとなってくるので、最初のたたき台があってそこからどんどんそぎ落としていくような形でシンプルにしてまとめあげていったほうがよかったのかなと思った。

それと前回指摘した、「取り組みます。」「取り組みを推進します。」「推進します。」の表記のすみわけはどのようにされているのか伺いたい。例えば、11 ページ２の施策の基本的考え方に「推進します。」「取組を推進します。」と表記が異なっている。

事務局（森田政策調整課長補佐）： 資料２　11 ページですが、「意識した取り組み」を名詞ととらえて表現させていただいている。言われたように「意識して推進します」のように表記してもいいようにも思う。再度検討をさせていただきたい。

I 委員： 事業一覧 7 ページの基本戦略 14 に空き家バンクについて表記されている。空き家管理後の活用方法について、基本戦略 15 にも移住についての項目があるが、今現在、鹿島高校の入学生の確保に苦慮している。ＪＲのダイヤ改正等で多良方面、佐賀・武雄方面からの呼び込みが難しくなってきている。今回インターハイで女子弓道部が全国 2 位という成績をおさめているし、他の種目でも九州大会にたくさん出場している。そういうところで学校の特色を出すために他の地域からも生徒を呼び込みたいが、実際に学校に通うとしたら、JR の不便さなどもあるので、個

人的な意見になるが、できたら自分たちで高校 3 年間鹿島市に住んでもらうような施設があればと思った。空き家バンクに登録された物件を活用して高校生が何人かで共同生活をするなどして鹿島高校に通ってもらうなどの活用ができればと思う。卒業後、地元に帰るにしてもよその大学に行くにしても鹿島市への移住にはつながらないかもしれないが、3 年間鹿島市に住んでもらうことで鹿島市につながりを感じてもらえるだろうし、将来ふるさと納税をしてもらうこともできるかもしれないので、そういう受け入れの施設が出来ればいいなと思った。

あと、食事の面が大変なので、朝・夕だけでも安価で食事を提供してくれるようなまちかど食堂みたいなところをしてくれるところがあれば、子どもたちも喜ぶだろうし、保護者も安心して送りだしてくれるのではないかと思った。

事務局（中村政策調整課長）： これについては地域留学という形で島根県のほうで取り組みが行われている。その仲介をしているところから鹿島市にも話があっている。ただ、課題として場所と食事の提供、生活の面倒を見る体制整備などがあるため、受け入れ先を見つけることがなかなか大変だと思う。すぐにはできないが、それも一つの方策だと思って検討をしていきたい。

J 委員：９ページの基本戦略 23 の海道しるべの来館者数の目標を利用者数に目標にしてはどうか。

また、空き家について、うちの裏にも空き家があるが漁協の手伝いをしてくださるインドネシアの方が共同生活をされている。普段は静かな場所だが、いらっしゃるおかげでにぎやかになった。先ほどの鹿島高校の話で老後そういう手伝いもするのもいいかなと少し思った。

事務局（森田政策調整課長補佐）： 海道しるべの来館者数と利用者数については担当部署と再度協議をしていきたい。

H 委員： 10 ページ基本戦略 25　重層的支援体制整備事業は新規で取り組むということでいいか。

事務局（森田政策調整課長補佐）：担当部署より示された案になります。

B 委員： 10 ページ　基本戦略 25 について単位が%で指標タイプが年間水準、令和 12 年度目標が 100%となっており、年間水準だと%／年の表記になるのではないか。他の基本戦略についても、単位、指標タイプ、令和 12 年度目標が矛盾しているようなところがあるので全体的に再度、担当部署に確認したほうがよいのではないか。

事務局（森田政策調整課長補佐）： 再度、担当部署に確認したい。

H 委員：先ほどの重層的支援体制整備事業でよく見ると活動指標名が調査研究、導入検討となっているので、導入検討するというのを活動指標にしているので導入するかしないかはわからないということでいいか。

事務局（森田政策調整課長補佐）：この目標の立て方はそのようになっています。

K 委員：基本戦略 1 と 46 にかしまデジタル変革（DX）戦略で市民サービスの向上の部分と庁内業務の効率化の部分で敢えて分けて書いてあると思うが内容の表記が全く一緒なので敢えて分けているのであれば分けたことが分かるようにもう少しわかりやすく表記を変えたほうがいいのではないかと思う。

事務局（森田政策調整課長補佐）：ご指摘のように内容の部分について担当部署に確認し、再度検討したい。

事務局（中村政策調整課長）：今回いただいた意見を元に、検討し修正等させていただく。今回の審議会が一つの区切りとなり、この修正した計画案をもとにパブリックコメントを実施させていただく。これ以降についてもなにかありましたら、委員の皆様にご意見をいただければと思う。

次回開催はパブリックコメント後の 10 月 30 日（木）13：30 から新世紀センター２階会議室で予定しているのでよろしくお願いします。

（4）閉会

馬場副会長より閉会のあいさつ

（5）次回審議会の予定

と　き：１０月３０日（木）　１３時３０分から

ところ：新世紀センター２階会議室

5. 配布資料

・次第

・資料２（つながる笑顔のまちかしま　～第八次鹿島市総合計画～）

・資料３　第３期鹿島市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業一覧

審議会の様子